



平成 26 年 6 月 17 日
独立行政法人国立科学博物館

2014 科博 NEWS 展示

ダイオウイカふたたび

「大王烏賊深海図」特別公開

開催及び感謝状贈呈式実施のお知らせ

国立科学博物館(館長 林 良博)では、7月1日(火)から、2014 科博 NEWS 展示「ダイオウイカふたたび『大王烏賊深海図』特別公開」を開催いたします。

また、本展示のオープン初日(7月1日(火))には、別添のとおり「大王烏賊深海図」寄贈者への感謝状贈呈式を行いますので、併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館では、平成 26 年 7 月 1 日(火)から 7 月 20 日(日)の期間で 2014 科博 NEWS 展示「ダイオウイカふたたび『大王烏賊深海図』特別公開」を開催いたします。

昨年夏に開催した特別展「深海－挑戦の歩みと驚異の生きものたち－」(平成 25 年 7 月 6 日(土)から 10 月 6 日(日))では、プロモーションの一環として、マンガアーティスト・寺田克也氏による巨大な「大王烏賊深海図」が制作されました。上記特別展開催中は、そのレプリカが上野駅のアトレ上野に掲示され、街ゆく人々の驚嘆と称賛を受けました。このたび寺田氏のご好意により、その肉筆原画が特別展開関連資料として当館に寄贈されることとなりました。この科博 NEWS 展示では、寄贈にあたって、この大迫力の肉筆原画と制作者の寺田氏および制作過程を、常設展来館者に広く知っていただくとともに、本年年明けから、日本海に面した沿岸各地で頻繁に発見や捕獲をされた、異常ともいえる数のダイオウイカについての記録を取りまとめ、なぜ今年の冬、日本海でダイオウイカが次々と人の目に触れたのか、その謎とメカニズムの一端を、パネル等をつかってご紹介いたします。

また、オープン初日の 7 月 1 日(火) 午前 11 時 00 分～11 時 30 分の間、「大王烏賊深海図」寄贈者である寺田克也氏への感謝状贈呈式を行います。

つきましては、取材・記事の掲載など本展示の広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

記

- 【開催期間】 平成26年7月1日(火)から7月20日(日)まで
- 【開催場所】 国立科学博物館(東京・上野公園) 日本館 1 階 中央ホール
- 【入 館 料】 常設展示入館料のみでご覧いただけます。
(一般・大学生: 620 円(団体 310 円)、高校生以下及び 65 歳以上無料※団体は 20 名以上)
- 【休 館 日】 7 月 7 日(月)、14 日(月)
- 【主 催】 独立行政法人 国立科学博物館
- 【後 援】 NHK プロモーション、電通
- 【協 力】 NHK エンタープライズ
- 【展示構成】 「大王烏賊深海図」肉筆原画とパネルによる解説

【イベント】

◆ 感謝状贈呈式

7月1日（火）午前11時00分～11時30分、日本館1階中央ホールにて実施。詳細は別添をご参照ください。

◆ 特別トークイベント

「『大王烏賊深海図』の絵師として」寺田克也

「2014年日本海沿岸、ダイオウイカ大量出現の謎」窪寺恒己

【日時】7月12日（土）13時30分～15時00分

【会場】日本館2階 講堂

【定員】先着100名（当日受付）

【出演】寺田克也（マンガアーティスト・寄贈者）

窪寺恒己（国立科学博物館標本資料センター コレクションディレクター）

寄贈者、担当研究者のプロフィール



寄贈者：マンガアーティスト

寺田 克也（てらだ かつや）

1963年岡山県生まれ。マンガ、イラスト、ゲーム・アニメのキャラクターデザインなど幅広い分野で活動中。早くからコンピューターとタブレットでのデジタル絵に移行しつつ、ライブドローイングなども積極的に行う。欧米コミックスと日本の伝統的絵画における線や陰影の表現をあわせもったオリジナルな作風は、国内外で高く評価されている。



担当研究者：国立科学博物館標本資料センター

コレクションディレクター 窪寺恒己（くぼでらつねみ）

1951年東京生まれ。北海道大学大学院修了。水産学博士。2004年、小笠原沖でダイオウイカの姿を世界で初めて撮影に成功。2012年にはNHKなどと共同でダイオウイカの生態映像の撮影に成功し、世界中の注目を集める。現在、国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター長。

本件についての問合せ

経営管理部 研究推進・管理課 研究活動広報担当 吉田 聡宏

標本資料センター コレクションディレクター 窪寺 恒己

TEL:029-853-8903 FAX:029-853-8998 E-mail:outreach@kahaku.go.jp

<国立科学博物館ホームページ> <http://www.kahaku.go.jp/>

2014 科博 NEWS 展示
ダイオウイカふたたび
「大王烏賊深海図」特別公開
感謝状贈呈式のお知らせ
平成 26 年 7 月 1 日（火）午前 11 時 00 分～／上野・国立科学博物館

国立科学博物館では、2014 科博 NEWS 展示「ダイオウイカふたたび『大王烏賊深海図』特別公開」の開催にあわせ、下記のとおり「大王烏賊深海図」寄贈者である寺田克也氏への感謝状贈呈式を実施いたします。

つきましては、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

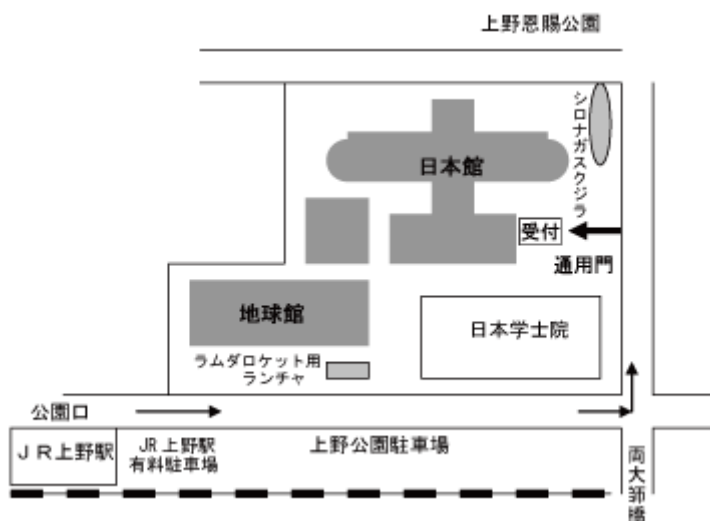
記

【日 時】平成 26 年 7 月 1 日（火）午前 11 時 00 分～11 時 30 分（受付開始午前 10:30～）

【会 場】国立科学博物館 （東京都台東区上野公園 7-20）

【受付場所】国立科学博物館 事務棟入口 ※通用門からお入りください。

＜交通のご案内＞ JR 上野駅公園口から徒歩 5 分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩 10 分、京成電鉄上野駅から徒歩 10 分 ※駐車場の用意はございません。



当日のスケジュール

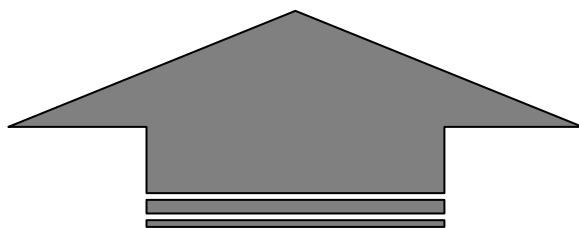
午前 10:30～ 受付開始（受付場所：事務棟入口 ※通用門からお入りください）

午前 11:00～11:30 感謝状贈呈式（会場：日本館 1 階中央ホール）

- ・ 贈呈式終了後、担当研究者が展示について、皆様からのご質問にお答えします。
- ・ 展示室内の撮影が可能です。

参加をご希望の方は、別紙「返信用紙」にて 6 月 25 日（水）までにお知らせください。

※事前にお申し込みいただかなくても、当日ご参加できますが、大まかな人数把握をさせていただきますたく存じますので、ご返信いただければ幸いです。



【 返 信 用 紙 】

F A X 番 号

< 0 3 - 5 8 1 4 - 9 8 9 8 >

2014 科博 NEWS 展示
「ダイオウイカふたたび『大王烏賊深海図』特別公開」

感謝状贈呈式 参加票

(平成26年7月1日(火) 午前11時00分～11時30分)

(受付: 午前10時30分～)

参加をご希望される方は、下記項目にご記入の上、事前にFAXにてご返信
いただければ幸いです。

お手数をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

貴社名 _____

貴メディア・所属部署名 _____

ご芳名 _____

連絡先

住所: 〒 _____

TEL: _____ FAX: _____

メールアドレス: _____

備考 _____

2014年7月1日(火)～20日(日) 休館日：7月7・14日(月)
国立科学博物館 [東京・上野公園] 日本館1階・中央ホール

開館時間：午前9時～午後5時 金曜日は午後8時まで
*入館は閉館時刻の30分前まで

常設展示入館料のみでご覧いただけます。

常設展示入館料：一般・大学生 620円(団体310円) 高校生以下および65歳以上無料
*団体は20名以上

〈主催〉国立科学博物館

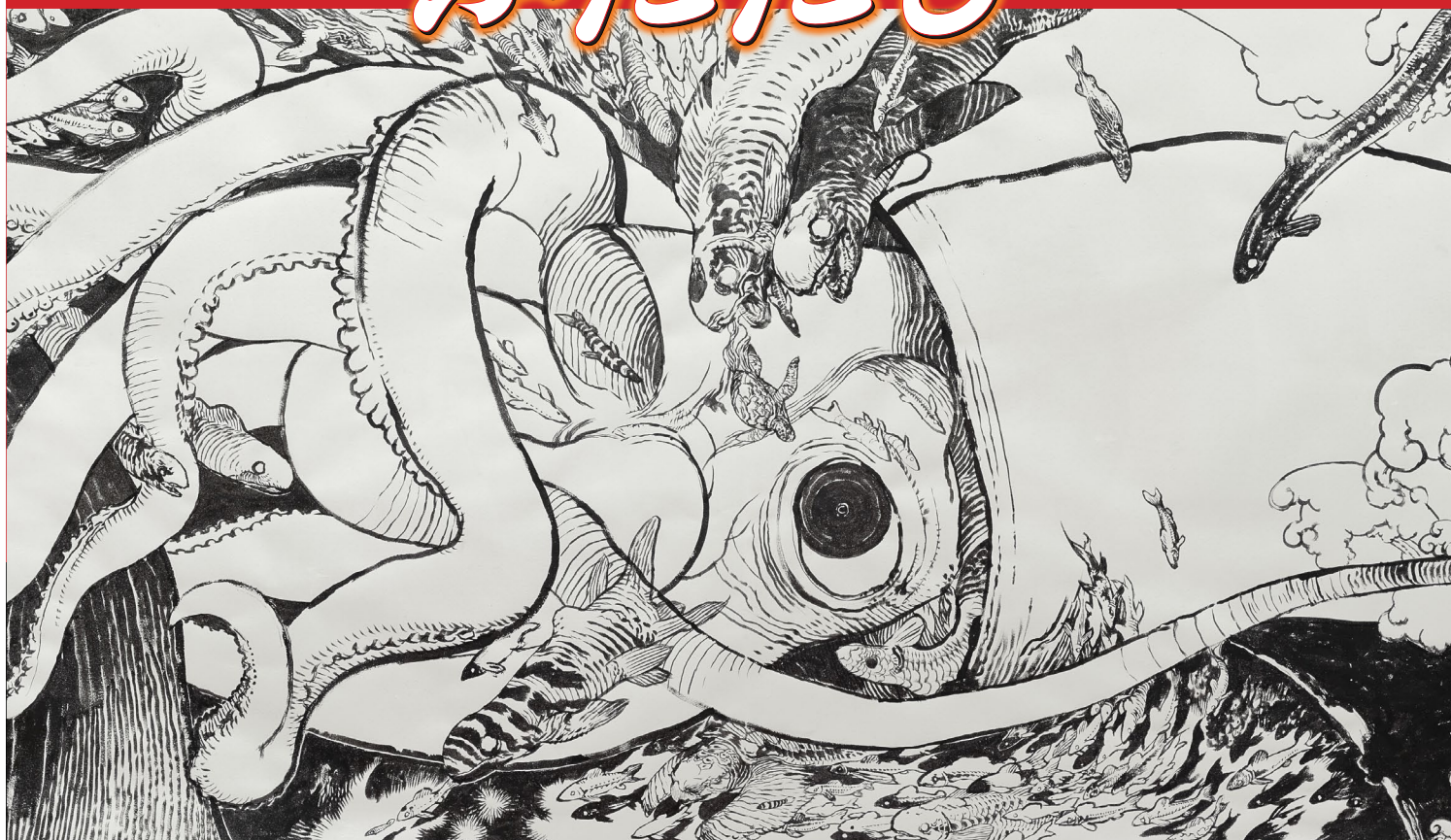
〈後援〉NHK プロモーション 電通

〈協力〉NHK エンタープライズ

— 2014科博NEWS展示 —

「大王鳥賊深海図」特別公開

ダイオウイカ ふたたび



寺田克也「大王鳥賊深海図」(部分)



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

2014年、日本海に度々現れた ダイオウイカの謎に迫る

— 2014科博NEWS展示 —

「大王烏賊深海図」特別公開

ダイオウイカ ふたたび

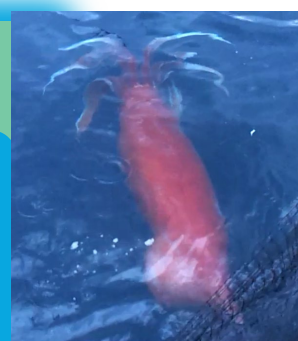
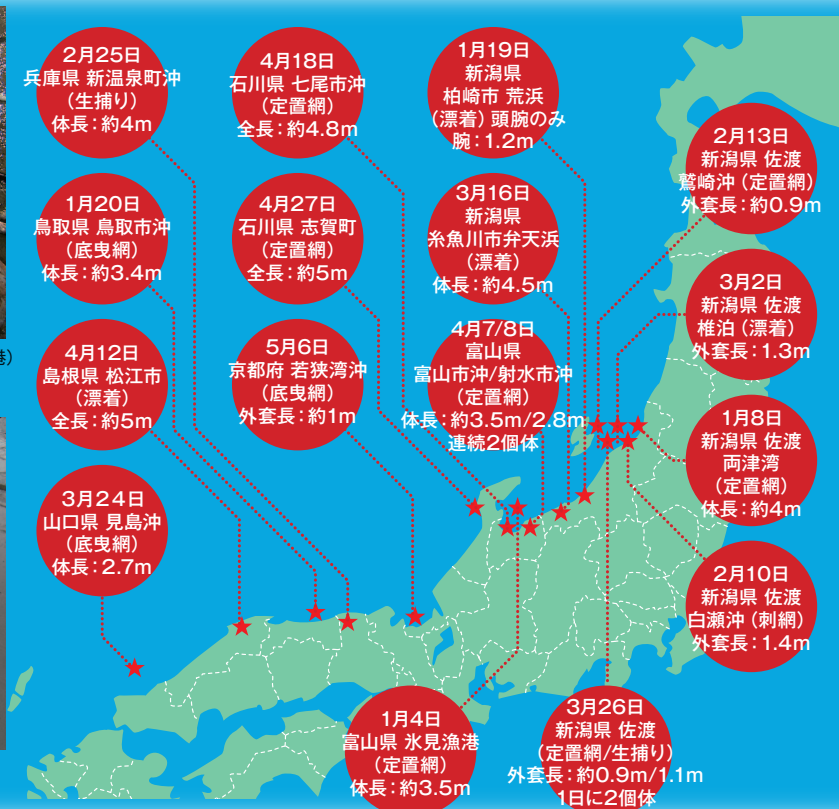
昨年7月から開催された特別展「深海」は、3ヶ月で59万人以上のお客様にご入場いただき、“ダイオウイカ”が話題を集めました。このたび国立科学博物館では、マンガアーティスト寺田克也氏が制作した「大王烏賊深海図」(8m×2.7m)の寄贈をうけ、特別公開を行います。あわせて、今年明けから頻繁に発見・捕獲されたダイオウイカについて、なぜ日本海沿岸で次々と出現したのか、その謎とメカニズムの一端に迫ります。



定置網に死骸で入網(富山/氷見漁港)



浜に漂着(新潟/糸魚川市弁天浜)
上越市立水族博物館 提供



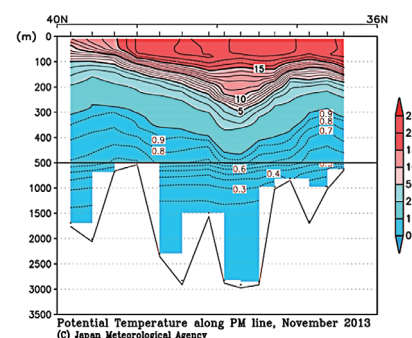
定置網に生体で入網(新潟/佐渡白瀬沖)
後藤繁紀氏 提供



刺網で捕獲(新潟/佐渡両津湾)
新潟県佐渡地域振興局 提供

水深約300m以深に広がる 水温0～1℃の日本海固有水の存在が鍵？

ダイオウイカは広く世界の温帯海域に分布し、水深600～1000m付近の中深層に生息していると考えられています。2014年1月から5月、日本海に面した沿岸各地でダイオウイカが次々と発見され、総数は18個体にもなりました。なぜこのような現象が起こったのか、日本海に固有の水温構造とこの冬の水温分布から解析し、その過程を紹介します。



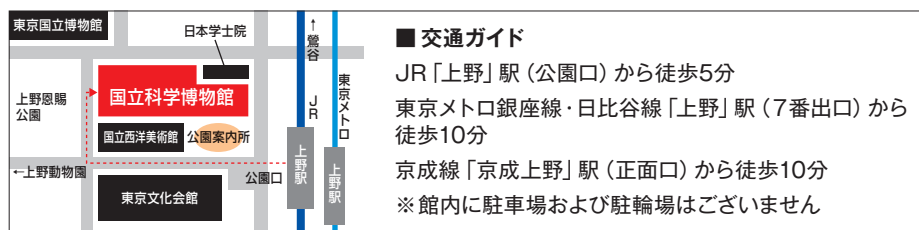
日時: 7月12日(土) 13:30-15:00

会場: 日本館2階講堂 定員: 100名(当日先着順受付)

「『大王烏賊深海図』の絵師として」寺田克也 マンガアーティスト

「2014年日本海沿岸、ダイオウイカ大量出現の謎」窪寺恒己 国立科学博物館 標本資料センターコレクションディレクター

寺田克也: マンガ、イラスト、ゲーム・アニメのキャラクターデザインなど幅広い分野で活動中。早くからコンピューターとタブレットでのデジタル絵に移行しつつ、ライブドローイングなども積極的に行う。欧米コミックスと日本の伝統的絵画における線や陰影の表現をあわせもったオリジナルな作風は、国内外で高く評価されている。



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600

ホームページ <http://www.kahaku.go.jp>

English page <http://www.kahaku.go.jp/english>